

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成24年8月2日(2012.8.2)

【公表番号】特表2012-502256(P2012-502256A)

【公表日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-004

【出願番号】特願2011-526239(P2011-526239)

【国際特許分類】

F 25 D 11/00 (2006.01)

【F I】

F 25 D 11/00 101D

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月18日(2012.6.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

断熱本体(30)は、その底面(36)から幅 $h_b$ だけ伸長する下部(34)を備える。下部(34)の長さ $L_1$ は、断熱本体(30)の長さ $L_L$ よりも短く、その幅 $W_1$ は、断熱本体(30)の幅 $W_L$ よりも短くなっている。この下部(34)の縁部(38)は、断熱本体(30)の底面縁部(40)から内側に凹むように形成されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

断熱本体(60)は、さらに、その底面(66)から幅 $h_b$ だけ伸長する下部(64)を備える。この下部(64)の長さは $L_3$ であり、断熱本体(60)の長さ $L_S$ よりも短くなっている。また、その幅は $W_3$ であり、断熱本体(60)の幅 $W_S$ よりも短くなっている。このため、この下部(64)の縁部(68)は、断熱本体(60)の底面縁部(70)から内側に凹んで形成されている。第2のクーラーボックス(16)の断熱本体(60)は、運搬用の回転式のハンドル(71)をさらに備える。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

断熱蓋(62)の上面(78)は、高さ $h_e$ 、厚さ $t$ の隆起縁部(80)を備える。この上面(78)は、内側の長さ $L_4$ 、内側の幅 $W_4$ を備えている。蓋(62)の隆起縁部(80)と上面の間には、曲面(82)が伸長している。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0025】

蓋(62)の隆起縁部(80)は、断熱本体(60)の下部(64)が、この隆起縁部(80)内にぴったりと嵌めることができるように形成されている。このように、蓋(62)の上面(78)の内側の長さL<sub>4</sub>は、断熱本体(60)の下部(64)の長さL<sub>3</sub>よりもわずかに大きくなっている。同様に、蓋(62)の上面(78)の内側の幅W<sub>4</sub>は、断熱本体(60)の下部(64)の幅W<sub>3</sub>よりもわずかに大きくなっている。

## 【手続補正5】

## 【補正対象書類名】明細書

## 【補正対象項目名】0029

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0029】

図1および図24に示すように、1対の第2のクーラーボックス(16、18)を、第1のクーラーボックス(14)の上に積み重ねることができる。第1のクーラーボックス(14)の上に第2のクーラーボックス(16、18)を積み重ねる場合に、第2のクーラーボックス(16、18)は、第1のクーラーボックス(14)の蓋(32)の長さ方向に沿って、横に並べて載置される。すなわち、第1のクーラーボックス(14)の蓋(32)の上面(48)の内側の幅W<sub>2</sub>は、第2のクーラーボックス(16、18)の断熱本体(60)の下部(64)の長さL<sub>3</sub>よりもわずかに大きくなっている。第1のクーラーボックスの蓋(32)の上面(48)の内側の長さL<sub>2</sub>は、第2のクーラーボックス(16、18)の断熱本体(60)の下部(64)の幅W<sub>3</sub>の2倍よりも大きくなっている。このようにして、2つの第2のクーラーボックス(16、18)を、第1のクーラーボックス(14)の蓋(32)の長さ方向に沿って横向きに並べて配置することができる。

## 【手続補正6】

## 【補正対象書類名】明細書

## 【補正対象項目名】0033

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0033】

図13および図14に、外側シェル(30a)と、この外側シェル(30a)に内嵌めされる断熱ライナ(30b)とを備える、好ましい態様の断熱本体(30)を示す。また、断熱本体(30)は、外側シェル(30a)と一体的に形成されたハンドル(30c)を備えていることが好ましい。

## 【手続補正7】

## 【補正対象書類名】明細書

## 【補正対象項目名】0036

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0036】

10 クーラーボックスの積み重ね

12 1番目のクーラーボックス(第1のクーラーボックス)

14 2番目のクーラーボックス(第1のクーラーボックス)

16 3番目のクーラーボックス(第2のクーラーボックス)

18 4番目のクーラーボックス(第2のクーラーボックス)

20 5番目のクーラーボックス(第2のクーラーボックス)

22 6番目のクーラーボックス(第2のクーラーボックス)

30 断熱本体

30a 外側シェル

30b 断熱ライナ

## 3 0 c ハンドル

## 3 2 断熱蓋

3 4 断熱本体の下部  
3 6 断熱本体の底面  
3 8 断熱本体の下部の縁部  
4 0 断熱本体の底面の縁部

## 4 2 開口上端

4 4 断熱蓋の下部  
4 6 断熱蓋の底面  
4 8 断熱蓋の上面  
5 0 断熱蓋の隆起縁部

## 5 2 断熱蓋の曲面部

## 5 4 脚部

## 6 0 断熱本体

## 6 2 断熱蓋

6 4 断熱本体の下部  
6 6 断熱本体の底面  
6 8 断熱本体の下部の縁部  
7 0 断熱本体の底面の縁部

## 7 1 回転式ハンドル

## 7 2 開口上端

## 7 4 断熱蓋の下部

## 7 6 断熱蓋の底面

## 7 8 断熱蓋の上面

## 8 0 断熱蓋の隆起縁部

## 8 2 断熱蓋の曲面

## 8 4 脚部

## 1 0 0 カート

## 1 0 4 リップ部

## 1 0 6 車輪

## 1 0 8 ピボット車輪

## 1 1 0 カートハンドル

## 1 1 2 ハンドルマウント

## 1 1 4 カート部品

## 1 1 6 カート部品

## 1 1 8 中央バー

## 1 2 0 ラッチ